

道徳学習指導案

指導者 小林 一志

- 1 日時 平成25年10月10日(木) 5校時 3A教室
- 2 学級 3年A組 男子18名 女子20名 計38名
- 3 主題 「命をいとおしむ」
(資料名「たとえぼくに明日はなくとも」 出典「中学道徳3 明日をひらく」東京書籍)

【学習指導要領との関連】

3-(1) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。

4 主題について

(1) 資料について

一人一人の人生の意味は、その人がいかに生きるかによるものである。自分の人生を大切に生き抜くためには、二度と与えられることのない自他の生命のかけがえのなさに気付かなければならない。生命のかけがえのなさを自覚し、困難や苦悩を乗り越えてたくましく生き抜こうとする心情を育てることが大切である。この資料は、限られた命と宣告された少年が、人との出会いによって苦悩を抱えながらも生きる喜びを見出す内容である。人間としての美しさ、たくましさを感じさせる資料である。

生命の尊重にかかわっては、保健体育「心身の発達と心の健康」、家庭「保育」、国語「握手」、理科「生物の子孫の残し方」等に関連して学習したり深めたりできる。

(2) 生徒について

本学級の生徒は、東日本大震災の起きた年に入学し、一年生の時より、震災を体験した方のお話を聞いたり、おもかげ復元師や緩和ケアの先生を招いての講演会など「命」について考える機会を多く体験してきている。しかし、軽はずみで級友に対して「死ね」という言葉を使ったり、時には、さまざまな悩みのなかで、「死にたい」という言葉を安易に使ってしまうなど、命のかけがえのないものであることは概念として理解はしていても、日々の生活において生命を大切に生きていく姿勢が育まれていない実態がある。生徒の中には、父母や祖父母の死に遭ったことがある生徒もあり、生命のかけがえのなさに心を揺り動かされる経験に個人差が大きいと思われる。こうした生徒たちが、生命のかけがえのなさを人間としての生き方に関わらせて考えられるようにしたい。

(3) 指導について

はじめに「命」について、生徒の持っているイメージを確かめ合い、さまざまな視点から「命」をとらえさせていきたい。その後資料を活用し、登場人物の思いに触れさせ、自らの考えを深めさせたり変容させたりしたい。また、学びが受動的にならないようにすることと、困難に直面した時に、様々なものの見方ができるように判断、行動、実践していけるよう願って授業を進めていきたい。授業の終末では、これから生きていく上で、家族、友達、地域、社会の人間同士のかかわりの中で精一杯生き抜こうとする意欲や態度を互いに共有し合いたい。

5 本時のねらい

(1) 道徳性の変容

「生命の尊重」を事象の中から気づいたり、深めたりして考えようとしている。

【根拠が深まっている場合に、道徳的判断力が育っていると考える。】

(2) 指導の評価

「生命の尊重」は、日々を大切に生きていくことだと理解しようとしている。

【自分なりの生き方や他とのかかわり方を考えている場合に、道徳的实践意欲と態度が表れていると考える。】

評価方法	観察	面接	質問紙	作文やノート	その他	
			○		○	・道徳的判断力や道徳的態度の理解に活用。感じ方や考え方を的確に読み取り、賞賛や励ましの言葉を添えて返却。 ・自己評価や保護者の目を通しての評価にも活用可能。

6 展開

段階	学習の流れ ★生徒の意識や態度	学 習 活 動	
		生徒の活動(囲み：期待する生徒の反応) ○指導者の主発問等	指 導 上 の 留 意 点
導入 5分	1 命について考える ★何に役立つのか ★なぜ学ぶ必要があるのか	1 「命の大切さ」についてのアンケート結果について話し合う。 ○なぜ、命はたいせつなのだろう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・たった1つしかないものだから ・一度の限りのものだから ・親からもらったものだから </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を発表することにより、生命尊重という道徳的価値への意識づけをする。 また、生命についての自分自身の見方を掘り起こす。 ・アンケートの結果については、紙板書を使用し視覚的に共有化できるようにする。
	2 めあての確認 ★何を深めるのか	2 めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> (考えよう) 限りある生命を生き抜くためにどんなことが大切だろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題意識をもたせる。
展開 37分	3 見通しの確認 ★1時間の流れはどうか ★何を評価されるのか	3 学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・資料内容を理解させるために予め資料は読ませておくと共に、今までの「命」について考えてきた機会にもふれる。 ・進行性筋ジストロフィーについても予め説明を行う。 ・あらすじの確認については、あまり時間をかけずに説明する。 ・親の気持ちを考えるグループと正一君の気持ちを考えるグループに分け、相互の考えを交流させる。 ・親の悲しみと愛情に思いを至らせることにより、一人一人の生命が周囲の人々の温かな支えによってはぐまれていくことに気づかせる。 ・難病と闘ってきたにもかかわらず、限られた命と宣告されたときの正一君の苦悩や絶望感に共感させる。 ・自分をはじめに考えていなかった親、もしくは正一君の思いを考えさせることにより、さらに深まった思いに迫らせたい。
	4 資料を読んで話し合う ★知りたい ★学びたい	4 正一君が20歳までしか生きられないことを知ったときの親と正一君の気持ちを話し合う。 ○20歳までしか生きられないと知ったとき、親と正一君はどんな気持ちになっただろうか。 親 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜこの子がこんな目にあうのか。悲しく絶望的な気持ち。 ・代われるものなら代わりたい。 ・息子との日々を大切に過ごそう。 </div> 正一君 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・そんなに短いなんてあんまりだ。 ・病気になって苦しむだけの人生なのに、なぜ、生まれてきたのだろう。 ・辛すぎる。 </div> ※逆の立場も考えさせる。	
終末 8分	5 熟考 ★深めたい	5 正一君が館野さんと出会い、生きぬく決意をしたときの思いを話し合う。 ○正一君の「館野さんに負けずに、ぼくも生きよう！たとえぼくに明日という日がなくてもぼくは生きよう！」のことは、どんな決意が込められているのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・正一君が生きようと決意したときの思いを考えさせ、生きがいをもって積極的に生きることや限られた人生を懸命に生き、自分が生きた証を残すことの大切さに気づくようにさせる。 ・意図的指名と切り返しの発問を組み合わせ、生命尊重に関する道徳的な見方や考えを深め、ねらいに迫る。 ・板書を構造化することで、話し合いの内容を把握できるようにする。
	6 能動的なかわり合い ★確かめたい ★伝えたい ★聞きたい ★広げたい	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・病気は苦しいけれど、残された時間を精いっぱい生きよう。 ・この世に生を受けた以上、自分が納得できる人生にしよう。 ・たとえ短い人生でも、今この瞬間を大切にすごそう。 </div> ○正一君の詩から、正一君の思いを考えよう。 ○皆に紹介したい話があります。 「人間のねうちは完全燃焼できるかどうかで決まる」(石川正一)	
終末 8分	7 まとめ ★充足感 ★新たな見方・考え方の獲得 ★実践意欲	7 学習を振り返り、生命の大切について考えたことをまとめる。 ○一度きりの限りある自分の生命を生き抜くためには、どのようなことを大切にしていけばよいだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習で学んだことや自分自身を振り返ることで、限りある生命を大切に生きようとする思いを高める。 ・授業前と授業後の意識の変化を、内省または対話等によって確認させ、考えた自分を認知できるようにする。
	8 自己評価 ★「できた自分」を褒め、「分かった自分」に自信をもち、「考えた自分」を認知する	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> まとめの例 <ul style="list-style-type: none"> ・命は二度と与えられることのないかけがえのないものだから、日々を大切に生きることが大切だ。 ・命は限りがあるからこそ、生きていてよかったと思えるような生きがいや希望を見つけることが大切だ。 </div> ○授業を振り返り、お互いの発表を聞き合っの感想や考え、思いが深まったことなどを記入しなさい。	
			<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことを用いて、命に対する考え方を自分のこととして、深められたことを認め合う。

7 板書計画

<p>命の完全燃焼</p> <p>たとえばよく明日がなくとも たとえ短い道を歩もうとも 生命は一つしかないのだ だからなにかをしないではいられない いっしょうけんめい心をいそがしく働かせて 心のあかしをすること それは釜の激しく燃える火にも似ている 釜の火は陶器を焼き上げるために 精いっぱい燃えている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日懸命に悔いを残さないように生きよう ・短いからこそ、やりたいことをやり通そう ・自分の人生を素晴らしいものだと思う ・希望ができた！生まれてきてよかった ・自分の存在、生きた証を残そう ・病氣、運命を受け入れて強く生きよう ・家族への感謝のために 	<p>館野さんに負けずにぼくも生きよう たとえばよく明日という日がなくても</p>	<p>親 悲しみ・愛情</p> <ul style="list-style-type: none"> ・息子とかわりたい ・よりよって我が子が辛い ・考えたくもない ・なんとかして治したい ・元気に負けずに生きていけたら十分 ・短いけど精一杯生きて人生を楽しんでほしい ・後悔のないように生きてほしい <p>正一君 絶望感・苦悩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんで自分が死ぬのが怖い ・もっと長くいたい ・悔いを残さず生きよう ・今できることをたくさんしたい ・大人になってからしかできないこともある！早すぎる ・家族みんなの記憶に残ることがしたい 	<p>難病 限られた生命 二十歳まで</p>	<p>考えよう</p> <p>限りある生命を生き抜くために どんなことが大切だろう</p>
<p>教科書からの挿絵 (中心発問に関わって 陶器をつくっている絵)</p>					

8 資料分析表

【主なる場面】	【主人公の心の動き】	【指導の意図】	【期待する生徒の反応】	【発問】
<p>① 立つことが困難になった自分を意識せざるを得ない正一君</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・驚き ・戸惑い ・気付き ・自分への苛立ち ・悲しみ ・うちひしがれる ・なんで自分だけが ・うらみ ・生への執着 ・絶望感 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の戸惑う気持ちと親の心の動揺の大きさを考えさせたい。 ・正一君の病気の重大さを叙述から確認し、正一君がぶつかったつらい現実を受止め、正一君の気持ちに共感させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えたくもない。 ・心の底から子どもがいたいとおしい。 ・まさか、自分の子どもが難病にかかるとは信じがたい。 ・何とか助けたい。 ・身代わりになりたい。 ・この子に、どう伝えたいのか。 	<p>(親) 我が子が20歳までしか生きられないことを告げられた親は、気持ちはどんなだったのだろうか。</p>
<p>② お父さんに何歳まで生きられるのか尋ねた正一君</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・期待 ・哀れみ ・不安 ・もっと生きたかった ・絶望感 ・恐怖 ・あきらめ ・虚脱感 ・無気力 ・お父さんの深い悲しみを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・命の期限を親に問うまでの不安や期待に気付かせ、難病と闘ってきたにもかかわらず、限られた命と宣告されたときの正一君の苦悩の大きさに共感させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・20さいだって!?!あまりに過酷じゃないか。 ・短すぎる。もっとやりたいことはあるんだ。 ・もしかしたら、希望はあるのかもしれない、いや、どうだろう。 ・死ぬことが怖い、いやだ。 	<p>20歳までしか生きられないことを親から聞いた時、正一君はどんな気持ちだったのだろうか。</p>
<p>③ 館野さんに出会った正一君</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・驚き ・不思議 ・出会いの感謝 ・うらやましき ・希望 ・可能性 ・生き方の発見 ・自分への励まし ・生きようと決意 	<ul style="list-style-type: none"> ・館野さんの生き方を知ったことによる正一君の内面の変化をとらえさせる。 ・館野さんから吸収した生き方とはどんなことか考えさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病氣、運命を受け入れて強く生きよう。 ・短いからこそ、やりたいことをやり通そう。 ・苦勞に負けない人になりたい。 ・ぼくは、生き抜きたい。 ・自分の人生を素晴らしいものだと思う。 	<p>正一君が館野さんの生き方から感じたり、気付いたりし、どんな生き方を決意したのだろうか。</p>
<p>④ 正一君の決意が表れている詩</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・限りある命への確認 ・生きよう ・生き抜こう ・がんばろう ・せいっぱい ・命のいとおいしさ ・親への感謝 ・立ち向かう ・厳肅さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・命の期限が迫っていると知りながら、精一杯生きようとする正一君の原動力は何か、を考えさせ、家族の存在にも気付かせたい。 ・「納得」「瞬間」等の言葉に込められた完全燃焼への情熱を感じさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・強く生きたい。 ・一度しかない命は後悔しないように納得して生きる事が大事。 ・自分一人の命ではないんだ。無造作にできない。 ・生きるの簡単、生き抜くのは決心がいる。 	<p>正一君の生き方から学ぶことはどんなことだろうか。 (正一君の命に対する考え方や、生き方に対する姿勢として、あなたは、どんなことが印象に残ったか。)</p>